

教育課程の編成と実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

三育学院大学看護学部の教育理念、教育目標に基づき、ディプロマ・ポリシーの達成のために以下のようにカリキュラムを編成する。

1. 「教養教育科目」「専門基礎科目」「専門教育科目」の3科目群からカリキュラムを構築する。
2. 初年次は〈看護の基盤を築く〉、2年次は〈専門知識を身につける〉、3年次は〈知識と実践をつなげる〉、4年次は〈看護を深化させる〉ことを目標に段階的に科目を配置する。
3. 人間の尊厳を尊重し、擁護する倫理観を育成するため、キリスト教科目を各学年に配置する。
4. 本学の看護の中心的概念である「全人的看護」を理解し、実践する能力を育成するための講義・演習・実習科目を配置する。
5. 対象のスピリチュアルな側面を理解し、寄り添う看護が実践できる科目を配置する。
6. 地域で暮らす人々の文化・生活状況を理解し、支援する能力を育成する科目を初年次より配置する。
7. 多様な文化・価値観を理解し、世界で健康支援ができる能力を育成する語学・国際看護科目を配置する。

（教育方法）

1. 主体的に学ぶ力を身につけるために、アクティブラーニングの学修方法を取り入れる。
2. 見識を広め、学びを深めるために、少人数を活かしたグループワーク、ディベートなどを取り入れる。
3. 知識と実践をつなぐために、シミュレーション教育やロールプレイ、事例を使った演習などを取り入れる。
4. 初年次教育では、大学生としての学修方法や学修習慣を身につけるために、学修センターの活用を推奨する。
5. 全学年を通して、オフィスアワーを活用した学修の振り返りをする機会を提供する。

（学修成果の評価）

1. 科目目的・目標に到達しているか、定期試験・レポート・実習評価等から学修成果を評価する。
2. 科目ごとに授業評価アンケートを行い、授業改善、学修支援に役立てる。